

京成電鉄株式会社



「お客様に喜ばれる良質な商品・サービスを、
安全・快適に提供し、健全な事業成長のもと、
社会の発展に貢献します。」

会社名	京成電鉄株式会社
事務所	〒272-8510 千葉県市川市八幡三丁目3番1号
代表者	代表取締役社長 小林 敏也
設立	明治42年6月30日（1909年6月30日）
資本金	36,803 百万円
社員数	1,728 名
事業内容	鉄道による一般運輸業 土地、建物の売買及び賃貸業

テーマ：

『いろいろな笑顔を結びたい』

～生活総合産業～

今回、京成電鉄の企業紹介という切り口でお話をさせていただきますが、まず、①京成グループというところのご紹介から始まり、京成電鉄の中でも②鉄道事業というところと不動産等々の販売や賃貸する③開発事業もございますので、その3点に絞ってお話をさせていただきます。

1. 京成グループについて

まずは京成グループについてです。京成グループ、皆さま恐らく想像しやすいのは

私ども京成電鉄、つまり電車の部分と、京成バスでとかですね。京成ストア、千葉中央にあるホテルミラマーレとかも、われわれの京成グループの事業の一環で運営をしているというところです。合計すると128社、存在をしており従業員数で言うと約2万4,000人の方が京成グループの従業員として働いているという状況であります。

京成グループ事業構成



鉄道・タクシー・バスの運輸業が 65 社、リブレ京成とかの流通業が 8 社、不動産としては京成不動産とかが 9 社、レジャーサービス業が 26 社。トラベルサービスや京成ローザ、そして、京成グループの持分法適用関連会社でいうとディズニーランドを運営しているオリエンタルランドも京成グループの 1 社に数えられています。あと京成建設をふくめて建設業は 2 社、その他の事業（保険業も含め）は 18 社となっております。

実は私、京成グループに入ってから 5 年間、京成自動車工業という会社に出向しておりました。箱根駅伝とかのマラソン中継車を作っている会社ですが、これが京成グループにあり、テレビ中継車のもののシェアが実は 90 パーセントくらいあったりする事業で、その他の事業に含まれておりました。

2. 京成グループの経営理念

私達京成グループは、生活総合産業と位置付けており、鉄道・バス・タクシーをはじめとして、いろいろなお店、さまざまな皆

様が、生活する上での日常を担うような事業展開をしている会社です。事業エリアは千葉県を中心としており、東京では墨田区・葛飾区・台東区あたり、そして、一部の茨城県を網羅した事業展開をしています。お客さま全てに、良質な商品・サービスを安全（大前提）・快適に提供し、健全なる事業成長を促し、社会の発展に貢献していきましょう、という経営理念のもと、日々まい進しております。また、『いろいろな笑顔を結びたい』という文言がありますが、こちらは京成グループスローガンとして全社で取り組みをしているところです。感謝の気持ちを持って笑顔で対応していきましょうというところを従業員一人一人が念頭に置いているということです。

3. 数字から見た京成グループ

次に、数字的な説明をいたします。京成グループ 128 社の営業収益ですが、昨年度 2018 年においては営業収益、つまり、売上が 2,616 億円となっております。中でも鉄道業・バス・タクシー等々の運輸業が約 6 割を占めております。その次が流通業で、全体の 1/4 くらいというのが、京成グループの収益構造となっております。例えば関東の鉄道会社の中には、東急電鉄とか小田急電鉄とかいくつかの会社がありますが、そちらのグループ事業の収益構造では、運輸業よりは流通業やレジャーサービス業というところの売上比率が高いような鉄道会社もあります。つまり、運輸業に強いというのが京成グループの一つの特色であると私共は認識している次第です。

ところで、関東民鉄 8 社での売上規模は、7 位ということで、下位に位置しています。

しかし一方、営業利益率に関しては民鉄中3位ということで、事業収益構造としては、利益率が非常に高いビジネスを展開していると言えます。また、経常利益率に関しては、民鉄1位ということで、京成電鉄グループとしての利益に関しては、他の民鉄8社の中では非常に上位に位置しているところです。ただ、一方でやはり売上を伸ばすということは社会の使命というか、私どもとしては社会に存在する意義となりますので、会社方針は売上／収益をいかに伸ばしていくのかを、常に念頭に活動しているところです。

4. 経営計画について

～長期経営計画

EVOLUTION PLAN～

長期経営計画（2010年度～2021年度）の主旨は、「グループ事業の中核である交通運輸事業の競争力・収益力を更に強化すると共に、千葉県北西部（特に京成線・新京成線・北総線沿線）並びに東京都東部を地盤として地域に密着した堅実な総合生活産業を展開し、地域経済を代表する企業グループの地位を拡充する」と策定し、事業展開をしております。そして、基本戦略の一つである「地域社会との共生」を非常に重要視しております。つまり、京成グループならびに京成電鉄においては地域社会との密着性というのが非常に重要であるというふうに再認識していることです。今回のように大学での講演をさせていただくのも産学共同で社会を伸ばしていく、もしくは社会に貢献することであると認識しております。千葉県の学生が千葉県で活躍する、そういったことも含めて共生、

連携をしていきたいなというふうに考えております。

2019年度、第二四半期決算において、営業収益・営業利益・経常利益、そして四半期の純利益というものは当グループとしては過去最高を記録しています。これも日頃から皆さまがたにお選びいただいているという結果でもありますし、社会的外的要因も含めて着実にチャンスというものをしっかりと獲得した結果になるのかなと思っております。数字におごることなく引き続き一人一人が2万4,000人たる社員一人一人が高めていく、しっかりと数字を出していくということに邁進していきたいというふうに思っております。

5. 京成電鉄について

収益事業としては冒頭説明したとおり鉄道事業と開発事業というのが大きな2本の柱になっております。収益924億円の内訳ですが、鉄道事業収益が694億円ということで75パーセント（全体の3/4）、17パーセント相当160億円が開発事業の収入というようなセグメントの構造になっております。社員が現状2019年7月1日現在で1,742名おります。うち鉄道事業に従事している者は92パーセントほどで1,500人くらい、開発事業の者は非常に少なく24名程、これは1パーセントくらいと、残り一般管理部門といわれている経理とか人事とかっていうのが、101名ほどで6パーセントくらいというような社員構造となっております。鉄道事業についてご説明すると京成路線としては69駅の駅を持って運営をしております。車両数は606両を運営してお客さまをお運びしている

いうところになっております。

6. 鉄道事業の重要なセグメント

鉄道事業における重要なセグメントは3本です。まず、通勤通学のお客さまをしっかりとお運びするという事です。そして観光地の輸送です。成田山新勝寺であるとか柴又の帝釈天であるとか、はたまた押上にあるスカイツリーも含めて、そういった観光地へお客さまをお運びするという事です。最後の3本目は、成田空港と都心間をいかに速くリーズナブルにお運びするかということです。即ち、この3本の柱で鉄道事業を運営しているという形になります。一日当たり約80万人の方がご利用されており、中でも日暮里駅・空港第2ビル駅間を36分間で繋いでいる京成スカイライナーがメイン商品となっております。

ところで、鉄道事業の中で大きな要素は、やはり、安全・安心への取組みとなります。ホームの改良等と合わせてホームドアの設置、非常停止ボタンとC-ATS（自動列車停止装置）の連動化です。人身事故や軌道内立ち入りなど、非常に大きな事故につながる事象というのは、多発する部分があります。そこで、ハード面で未然に防ぎ、安定、安心輸送を心掛けるということで設備投資展開をしているということです。同様に鉄道軌道の高架化です。踏切での事故、人身事故なくなると共に、交通渋滞を防ぐとか、さまざまなメリットがありますので、こういった高架化を推進しております。

インバウンド事業に関しては基本的に今アジア圏からの流入というのが非常に増えているのはご存じかと思えます。スカ

イライナーにご乗車されている外国人の層というのが、東アジア、中国、台湾、韓国、香港まさに訪日外国人として上位4カ国の方々が一番多くご利用いただいております。成田空港から都心へはJR東日本の成田エクスプレスという電車があります。こちらに乗車されているお客様は欧米の方々のご利用が多いので、当社としては東アジア・東南アジアの方々にもっと利用していただくことに注力しております。京成電鉄として、2020年、東京オリンピック・パラリンピックが開催されますが、そのような社会的イベントをきっかけとして京成スカイライナーをご利用いただき、的確なサービスとハード面でお客さまをご満足いただくというようなことに力を入れていきたいと考えております。

7. 他社連携事業について

一例として自治体・民間会社・当社と協業し、駅を中心とした事業を展開しています。アニメの「キャプテン翼」の作者が南葛飾高校のご出身であり、「キャプテン翼」のゆかり地が四ツ木駅であることから、駅に特別装飾を施したり、人気玩具「プラレール」を制作・販売するタカラトミー本社の最寄り駅である京成立石駅に特別装飾（ジオラマ・フォトスポット）を設置したりして、沿線の活性化に寄与しております。

さらに、千葉県のみならず関東近郊の私鉄各社とそれぞれの駅をめぐるようなスタンプラリーも実施したりとかしております。また、酒々井、幕張のアウトレットでは、時期に応じて様々なキャンペーンを展開しお得なチケット・クーポン券を配布したり、そして京成電鉄沿線には競馬場が

ありますので、これらとキャンペーンすることで若い方々が抱く競馬のイメージに変化をもたらしレジャーの一環として競馬場に行ったりしていただく、そんな事業展開も行っております。さらに、2019年6月110周年を迎えましたが、民間企業、自治体など連携した事業（イベント）も展開しました。

8. 開発事業について

開発事業として、駅および沿線を中心とした街づくりがありますが、鉄道を運営する上で、やはり沿線の住民をいかに増やしていくのが非常に重要であり、鉄道事業運営のみならず、不動産関連の事業も力強く2本目の柱として展開しております。この事業では賃貸業と不動産販売業との二本立てです。まずは賃貸業です。京成グループの資産として土地や建物がありますが、事業者や企業様に貸与してオフィス運営、もしくはホテルとして運営していただき安定した収益を確保するというのが、賃貸業の一つになります。さらに鉄道高架の下というのは、非常に有効的な活用スペースであり、オフィスの誘致、保育所の誘致、もしくはショッピングモール創りなど展開しております。一方、不動産販売業は、京成電鉄もしくは京成グループ、そして関係する不動産業者とマンションやもしくは戸建ての分譲販売することによって収益拡大につながり、おのずと沿線住民の増加に繋がっております。つまり、街の活性化にもつながり、結果的に京成グループの鉄道を始めとする関連事業にお客さまが携わる、ご利用いただけるようなきっかけになるので、不動産販売事業を展開してい

るところです。

9. 若手社員の日

社員の1日について若干の説明をします。運輸部営業課の社員です。彼は某大学の理工学部を卒業し総合職として入社しております。彼の経歴ですが、2018年4月の入社ですが、7月から動力車操縦者養成課程というのを1年間受け、2019年7月より鉄道本部運輸部営業課（宣伝担当）に配属されております。この動力車操縦者養成課程とは、ずばり電車の運転士免許の取得です。京成電鉄の総合職というのは大体、年間10名前後の採用があり、内2名程がこのように運転士免許を取るという過程を経て配属されますが、彼が当にその流れです。因みに2019年の7月から運転士免許を取る課程に女性社員が2名おり、当社として初めての試みになります。これは、社会的な女性の活躍ということもあり、今までの動力車操縦養成は男性社員が多かった点から変革しています。また会社の設備として女性が宿泊できる駅の施設とか、電車を運営管理している部門での宿泊施設というところなど、ハード面でも整えております。

ところで、彼は現在、運輸部営業課・宣伝という職を担当してお各種のキャンペーンやイベント企画で活躍しております。始業時間は朝9時半、終業時間が17時53分、つまり、実労働が7時間33分となっております。出勤後は、まず、メールチェック。100件/日のメールを朝のうちに半分以上片付け、10時半から12時、お昼までは制作会社と打ち合わせをしています。

そして、お昼の休憩を経て午後は、京成エージェンシーというハウスエージェンシーの担当者として現場に出向いたりイベントなどの調整では、駅長と調整や打合せをしたりしています。その後社内に戻り新しい企画書の資料を作成して18時頃に退社します。これが、営業課の1日になっています。

9. 最後は、

社内・部署の雰囲気について

最後に、京成電鉄の社員について説明します。私が所属する運輸部は現場を統括する部署ですので、安全・安心を守るという種厳しい部分があります。現場とのチームワークと信頼関係、時間管理です。そして、ほうれんそう（報告・連絡・相談）などコミュニケーションについては非常に良く図っています。そして、スピード感というのが非常に重要な部分でもありますので、日々の動き・変化が非常に好きだなという人には非常に楽しめてやれるような職場なのかなと思っています。社風ですが、かたそうなイメージもあるかもしれませんが、明るい社員が多く、また、先輩と後輩の上下関係の垣根が低く、お互いにサポートしあっているのです。仕事上での連携が取りやすい一面があります。

以 上